

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語	グループ名	Cグループ	年間授業時数	175 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思)「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。 (学)言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子 多島 康美				
使用教科書	新しい国語6（東京書籍）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「たずね合って考えよう」	3	・対話をする。	(知)言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づいている。 (思)「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかし合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (主)進んで対話し、学習の見通しを持って、考えを深めようとしている。
		「朗読で表現しよう」	8	・登場人物の心情やその変化を朗読で表現する。	(知)自分が思ったことや考えたことを踏まえて、朗読している。 (思)「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。 (主)進んで登場人物の相互関係や心情などを捉え、学習の見通しを持って物語を朗読しようとしている。
	5	「意見を聞いて考えよう」	7	・メディアの使い方について、必要な情報を集める。	(知)言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づいている。 (思)「話すこと・聞くこと」において、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 (主)進んで話し手の考えと自分の考えを比べ、学習の見通しを持って必要な情報を集めようとしている。
		「筆者の論の進め方をとらえよう」	8	・文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。	(知)原因と結果など情報と情報との関係について理解している (思)「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主)進んで文章の構成を捉え、学習の見通しを持って筆者の論の進め方について考えをまとめようとしている。
	6	「いざという時のために」	12	・防災についての提案書を作る。	(知)原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 (思)「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 (主)進んで論の進め方を工夫して、学習の見通しを持って、防災についての提案書を書こうとしている。
		「人物どうしの関係について話し合おう」	7	・物語を読み、人物どうしの関係について考えたことを伝え合う。	(知)文章を音読したり朗読したりしている。 (思)「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。 (主)進んで人物どうしの関係を捉え、学習の見通しを持って人物どうしの関係について考えたことを話し合おうとしている。
		「インターネットでの議論から考えよう」	7	・複数の文章を読み比べて、分かったことや考えたことをまとめる。	(知)さまざまな表現の工夫に気づいている。 (思)「読むこと」において、書き手は自分の考えをより適切に伝えるために、どのような理由や事例を用いることで説得力を高めようとしているのかについて考えている。 (主)進んで説得の工夫を読み取り、学習の見通しを持って自分の意見をまとめようとしている。
二 学 期	9	「心の動きを俳句で表そう」	5	・心が動いたことについて俳句を作る。	(知)語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (思)「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (主)進んで日常生活の中から材料を集め、粘り強く表現を工夫して俳句を作ろうとしている。
		「話し合って考えを深めよう」	9	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。	(知)原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 (思)「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかし合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (主)進んで立場を明確にしながらかし合い、学習の見通しを持って話し合おうとしている。
	10 前半	「表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう」	6	・物語を読み、考えたことを伝え合う。	(知)物語に描かれた表現の工夫に気づいている。 (思)「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主)進んで表現の効果を捉えながらかし合い、物語を読み、学習の見通しを持って読んで考えたことを伝え合おうとしている。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	「プラスチックごみの問題 について考えよう」	9	・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを伝える。	(知)情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (思)「読むこと」において、目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしている。 (主)進んで複数の情報を関係づけて読み、学習の見通しを持って自分の考えを深めようとしている。
	11	「発信しよう、私たちの SDGs」	5	・SDGsの17の目標に関連するテーマについて調べて考えたことをパンフレットにまとめる。	(知)情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (思)「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 (主)進んで情報を集め、学習の見通しを持って相手や目的に応じてパンフレットで情報を発信しようとしている。
		「プレゼンテーションをしよう」	7	・目的や意図に応じ、資料を使って自分の考えを提案する。	(知)話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 (思)「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 (主)進んで資料を使って、学習の見通しを持って目的や意図に応じ資料を使って自分の考えを提案しようとしている。
12	「物語を読んで、人物の生き方について考えよう」	12	・物語を読み、考えたことを伝え合う。	(知)比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 (思)「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめている。 (主)進んで物語が自分に語りかけてきたことを考え、学習の見通しを持って人物の生き方について考えようとしている。	
二 学 期	1	「宇宙や地球の未来について話し合おう」	11	・説明的な文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを伝える。	(知)情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。 (思)「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主)進んで三つの文章から自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しを持って考えたことを話し合おうとしている。
	2	「どう立ち向かう？ もしもの世界」	16	・さまざまな情報を多面的に検討して意見文を書く	(知)原因と結果など情報と情報との関係について理解している (思)「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主)進んで情報を多面的に検討し、学習の見通しを持って説得力のある意見文を書こうとしている。
	3	「成長をふり返って未来へ進もう」	8	・6年間の出来事から学んだことなどを文章にまとめる。	(知)思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (思)「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている (主)進んで出来事の意味を考え、学習の見通しを持って、表現を工夫しながら文章を書こうとしている。
その他		書写	35		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかお題を用意し、その中から話すようにする。</li> <li>・役割音読を行い、登場人物の気持ちを理解できるようにする。</li> <li>・段落に注目して文章の組み立てが分かるようにする。</li> <li>・調べたことと自分の考えが混同しないように分けてまとめる。</li> <li>・調べ学習と連携して学習を進める。</li> </ul>	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会	グループ名	Cグループ	年間授業時数	100 単位時間
年間指導目標	<p>(知)我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(学)社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。</p> <p>※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等</p>				
担当教職員	多島 康美				
使用教科書	新編 新しい社会6 政治・国際編、歴史編（東京書籍）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「わたしたちの生活と政治」	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちのくらしと日本国憲法</li> <li>・国の政治のしくみと選挙</li> <li>・子育て支援の願いを実現する政治</li> </ul>	(知) ・日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解することができる。 ・国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解することができる。 ・見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめることができる。	(思) ・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することができる。 ・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することができる。
	6	「日本の歴史」	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文のむらから古墳のくにへ</li> <li>・天皇中心の国づくり</li> <li>・貴族の暮らし</li> <li>・武士の世の中へ</li> <li>・今に伝わる室町文化</li> <li>・戦国の世から天下統一へ</li> <li>・江戸幕府と政治の安定</li> <li>・町人の文化と新しい学問</li> <li>・明治の国づくりを進めた人々</li> <li>・世界に歩みだした日本</li> <li>・長く続いた戦争と人々のくらし</li> <li>・新しい日本、平和な日本へ</li> </ul>	(知) ・狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解することができる。 ・大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解することができる。 ・貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解することができる。 ・源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解することができる。 ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解することができる。 ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解することができる。 ・江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解することができる。 ・歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解することができる。	(思) ・黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解することができる。 ・大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解することができる。 ・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解することができる。 ・遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができる。
二 学 期	9	10	(主) ・狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。			

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）		
一 学 期	11				<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習問題を追究・解決し、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。</li> <li>学習したことを基に、我が国の課題やそのよりよい解決方法について考えようとしている。また、歴史の学習を未来に生かそうとしている。</li> </ul>		
	12						
三 学 期	1	「世界の中の日本」	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本とつながりの深い国々</li> <li>世界の未来と日本の役割</li> </ul>	<p>(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国と経済や文化などの面で行き交う国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。</li> <li>我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を果たしていることを理解することができる。</li> <li>地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることができる。</li> </ul> <p>(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することができる。</li> <li>地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。</li> </ul> <p>(主)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国の人々の生活の様子や国際社会において我が国が果たしている役割について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</li> <li>学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことや今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。</li> </ul>		
	2						
	3						
その他							
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習などを通して、概要を理解できるようにする。</li> <li>自分の生活と結び付けて考えられるようにする。</li> <li>映像や写真を取り入れ、イメージしやすくする。</li> <li>調べたことをまとめ、発表する機会を設ける。</li> </ul>			

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学部	小学部	学年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	算数	グループ名	Cグループ	年間授業時数	175 単位時間
年間指導目標	<p>(知)分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思)数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p> <p>(学)数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等</p>				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子				
使用教科書	わくわく算数6（啓林館）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「対称な図形」	8	・線対称・点対称な図形の性質と作図	(知)操作活動を通して線対称・点対称な形について理解し、対称の軸や対称の中心、対応する点や直線を見つけたり、対称な図形を作図したりすることができる。 (思)平面図形の構成要素の対応に着目し、対称の軸や対称の中心を見いだしたり、対称な図形のかき方を考えたりしている。また、対称性の観点から多角形の特徴を考えている。 (主)対称な図形に進んで関わり、ふり返りを通して既習の合同な図形の見方と関連づけて対称性をとらえられることや対称性に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
		「文字と式」	7	・文字を使った式 式のよみ方	(知)○や△などの代わりにxやyなどの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、xやyに数をあてはめて対応するxやyの値を求めたりすることができる。 (思)問題場面から数量の関係を見いだして文字を使って式に表したり、文字を使って表された式の意味を具体的に即しているに読み取ったりしている。 (主)文字を使って式に表すことに進んで関わり、ふり返りを通してxやyなどの文字を使って数量やその関係を簡潔に表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
	「分数×整数、分数÷整数」	8	・分数×整数の計算の仕方 分数÷整数の計算の仕方	(知)分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算ができる。 (思)分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算について、分数の意味や図をもとに考えている。 (主)分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで関わり、ふり返りを通して分数の意味から計算の仕方を考えることや計算過程で約分することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。		
	「分数×分数」	9	・分数をかける計算 分数のかけ算の応用	(知)分数をかける計算の意味を理解し、計算することができる。また、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 (思)分数に分数をかける計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。 (主)分数に分数をかける計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさや計算のきまりが整数や小数と同じように成り立つことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。		
	「分数÷分数」	21	・分数でわる計算 割合を表す分数	(知)分数でわる計算の意味を理解し、計算することができる。 (思)分数を分数でわる計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。 (主)分数を分数でわる計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさに気づき、割合が分数で表される場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。		
7	「場合を順序よく整理して」	12	・場合の数の調べ方 条件を考えて解決する	(知)組み合わせや並べ方を順序よく整理して調べることができる。また、落ちや重ならないように調べるためには、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解している。 (思)組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重ならないように調べる方法を考えている。また、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断している。 (主)場合の数を調べることに進んで関わり、ふり返りを通して落ちや重ならないように図や表を使って順序よく整理することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。		
二学期	9	「円の面積」	4	・円の面積の公式 面積の公式の応用 ・角柱、円柱、複合図形の体積の求め方とその公式 ・データの整理 ちらばりのよさを表す表・グラフ	(知)円の面積の求め方や公式について理解し、円の面積や円弧を含む複合図形の面積を求めることができる。 (思)既習の図形の面積の求め方をもとに円の面積の見当のつけ方や求め方を考え、円の面積の公式を見いだしたり、公式を活用できるように円弧を含む複合図形をとらえたりしている。 (主)円の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、円や円弧を含む複合図形の面積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。	
		「立体の体積」	6		(知)柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、複合図形の体積を求めたりすることができる。 (思)直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考えている。 (主)柱体の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して体積の求め方や公式のよさに気づき、複合図形を柱体と捉えて体積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。	
	「データの整理と活用」	10		(知)身のまわりの事象について、データの散らばりを表すにはドットプロット、度数分布表やヒストグラムを用いるとよいことを理解し、それらをよんだりつくったりすることや代表値を求めたりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解している。 (思)目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、代表値や表・グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。また、得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。 (主)データの散らばりについて進んで関わり、度数分布表やヒストグラムを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。		
10	「比とその利用」	16	・等しい比の性質 小数・分数を使った比 比の一方の数量を求める全体を決まった比に分ける	(知)比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比を見つけて比を簡単にしたりすることができる。商としての分数や分数と小数・整数の関係、何倍かを分数で表すことについて理解している。 (思)数量の関係に着目し、比と一方の量からもう一方の量を求めたり、全体の量をきまった比に分けたりする方法を考えている。 (主)比に進んで関わり、ふり返りを通して比を用いて数量の関係を表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11	「図形の拡大と縮小」	20	・拡大図と縮図の作図、縮図の利用	<p>(知)図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応を見つけて拡大図・縮図を作図することができる。  (思)拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図・縮図の作図の仕方や形を考えたり説明したりしている。  (主)平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。</p> <p>(知)比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。  (思)数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりしている。  (主)比例や反比例の関係を考察することに進んで関わり、ふり返りを通してに数量の関係を、式や表、グラフに表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。</p>
		「比例と反比例」	14	・比例 比例の応用 反比例	
	12				
三 学 期	1	「およその形と大きさ」	12	・およその形と面積、体積、単位間の関係	<p>(知)身のまわりのものの概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。また、メートル法の仕組みについての理解を深める。  円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。  (思)身のまわりのものの概形をとらえ、およその面積や体積の求め方を考えている。また、長さと面積・体積の関係を調べたり、単位の接頭語の意味を考えたりしている。  円周と直径の関係に着目し、帰納的に考えて円周率を見いだしたり、円周や直径の求め方を考えたりしている。  (主)ものの形や大きさの考察に進んで関わり、ふり返りを通してものの概形をとらえることやメートル法の仕組みのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。</p>
	2	「6年のまとめ 数学へのパスポート」	28	・数と式、計算と見積もり、図形と量、変化と関係、データの活用、問題の見方・考え方	
	3				
その他		予備時数	15		
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的教材を用意する。</li> <li>・位取り表を活用する。</li> <li>・数直線などを用いて数の概念が分かるようにする。</li> <li>・先に計算するところに下線を引くように指導する。</li> <li>・1cm2の正方形を敷き詰める活動を行い、計算の仕方に気付けるようにする。</li> <li>・既習事項をもとに計算の仕方を考えられるようにする。</li> <li>・教えた資料には印を付けるようにする。</li> </ul>		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	進ずる教育課程
教科等名	理科	グループ名	Cグループ	年間授業時数	108 単位時間
年間指導目標	(知)燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象、生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思)燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象、生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 (学)燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象、生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 内山 陽子				
使用教科書	新編 新しい理科6（東京書籍）				

期 月	単元（題材）名	指導時間	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
				(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4 「地球と私たちの暮らし」	5	・人の暮らしと環境 植物の体の働き SDGs	(知) ・人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 ・人と環境との関わりについて、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・人と環境との関わりについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・人と環境について、調査などを行い、人の生活と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・人と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	「物の燃え方と空気」	5	・物が燃え続けるには 空気の変化	(知) ・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 ・燃焼の仕組みについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・燃焼の仕組みについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・燃焼の仕組みについて、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	5 「動物のからだのはたらき」	5	・食べ物のゆくえ 吸う空気とはく空気	(知) ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (主) ・人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	「植物のからだのはたらき」	6	・植物の水の通り道 植物と日光のかかわり	(知) ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・植物の体のつくりと働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	6 「生き物どうしのかかわり」	20	・食べ物をとおした生き物のかかわり 空気をとおした生き物どうしのかかわり 生き物と水とのかかわり	(知) ・生き物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わり生きていくことを理解している。 ・生き物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・生き物と環境について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などを行い、生き物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・生き物と環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	7				
二 学 期	9 「月の形と太陽」	11	・月の形の見え方	(知) ・月の無い側は太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 ・月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・月の形の見え方について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	10 前半	5	・大地をつくっている物 地層のでき方	(知) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器、資料などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・土地のつくりと変化について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
二 学 期	10 後 半	「変わり続ける大地」	5	・地震や火山の噴火と大地の変化 私たちのくらしと災害	(知) ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などの目的に応じて、器具や機器、資料などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・土地のつくりと変化について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	11	「てこのはたらきとしくみ」	12	・てこのはたらき てこが水平につり合うとき てこを利用した道具	(知) ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 ・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 ・てこの規則性について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・てこの規則性について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・てこの規則性について、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	12	「電気と私たちのくらし」	11	・電気をつくる 電気の利用 電気の有効利用 電気を利用した物をつくろう	(知) ・電気の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・電気の性質や働きについて、実験などを行い、電気の量と働きの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (思) ・電気の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・電気の性質や働きについて、実験などを行い、電気の量と働きの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
三 学 期	1	「水溶液の性質とはたらき」	8	・水溶液にとけている物 水溶液のなかま分け 水溶液のはたらき	(知) ・水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 ・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 ・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ・水溶液の性質や働きについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ・水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	2	「ふりこのきまり」	15	・人と環境とのかかわり 地球に生きる	(知) ①人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 ②人と環境との関わりについて、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①人と環境との関わりについて、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②人と環境について、調査などを行い、人の生活と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主) ①人と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②人と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・観察は、形、色、大きさに着目して行うようにする。 ・生活経験やこれまでの学習から思い出し、推測できるようにする。 ・イメージしやすい動画や拡大写真を活用する。 ・実験の初めと終わりの写真を撮り、比較できるようにする。 ・対照実験などで比較できるようにする。	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽	グループ名	Cグループ	年間授業時数	50 単位時間
年間指導目標	(知)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。				
	(思)音楽表現に対する思いや意図をもつことや、音楽を味わって聴くことができるようにする。				
	(学)協働して音楽活動をする楽しさを体験することを通して、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	楠本 泰周 多島 康美 生井 恭子				
使用教科書	小学生の音楽6(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)		
					(知) 知識・技能	(思) 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	(主)
一学期	4	「リズムで表現しよう」 ①リリックをしよう ②特徴あるリズムや響きを表現しよう ③楽器を演奏しよう	17	・表現:手拍子でリズム、リズムで仲良くなろう ラドレの音でせんりつ作り等 ・鑑賞:トルコ行進曲、メヌエット、神田ばやし トランペット吹きの休日等 ・楽器演奏:キーボード、打楽器等	(知) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付けることができる。 (思) 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりすることができる。 (主) いろいろな楽器の音色やそれらの重なりなどのよさを味わいながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。		
	5						
	6						
	7						
二学期	9	「曲に込められた思いを感じ取り、歌声や演奏で表現しよう」 ①歌詞を読んで気持ちを歌や身体表現で表現しよう ②日本や外国の音楽を味わおう	17	・表現:赤とんぼ、風とケーナのロマンス、子もり歌、会津磐梯山/音戸の舟歌、こぎりこ節、谷茶前、地球の向こう側の君へ、冬げしき等 ・鑑賞:ユーモレスク、「水上の音楽」からアラホーンパイプ、組曲「カレリア」から「行進曲風」に等 ・楽器演奏:キーボード、打楽器等	(知) 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (思) 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。		
	10						

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）		
	11				(主) 曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。		
	12						
三 学 期	1	「合奏をしよう」 ①知っている曲を演奏してみよう ②みんなで違う楽器を合わせて演奏してみよう	16	・表現:J-POP ・鑑賞:つるぎのまい、ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章等 ・楽器演奏;和太鼓 鍵盤ハーモニカ リコーダー等	(知) 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けることができる。 (思) 音色、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。 (主) 思いを表現に生かす活動に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組もうとする。		
	2						
	3						
その他							
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体表現などで曲の雰囲気を感じ取れるようにする</li> <li>・歌詞のある曲は、拡大した歌詞カードを用意し、確認しながら進められるようにする</li> <li>・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える(リズム、速さ、楽器の違いなど)</li> <li>・日本と外国の音楽を聴き比べ、音楽の特徴を感じ取れるようにする。</li> <li>・作者の思いや曲の情景がつかみやすいよう、写真や映像を活用する。</li> <li>・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える。</li> <li>・聞き馴染みのあるカノンコードを使っている曲を聴かせることで循環コードに気付けるようにする。</li> </ul>			

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	図画工作	グループ名	Cグループ	年間授業時数	54 単位時間
年間指導目標	(知)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (思)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学)主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子 森下				
使用教科書	5・6上下 開隆堂				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「季節を感じて」	4	・季節から感じたことを絵に表す	(知) 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫することができる。 (思) 季節を感じて、表したいことや表し方を考えることができる。 (主) 季節を味わい、描くことを楽しむ。
	5	「消防写生会」	4	・消防車の写生	(知) 消防車の特徴を捉えて描くことができる。 (思) 題材を踏まえて、表したいことや表し方を考えることができる。 (主) 消防車を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	6	「ビー玉大ぼうけん」	6	・ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ	(知) ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫することができる。 (思) 光を通した感じから、つくりたいランプを考えることができる。 (主) ランプをつくり、みんなで飾って楽しむ。
	7	「すかして重ねてわたしの光」	4	・紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。	(知) 紙の切り方や組み合わせなどを工夫することができる。 (思) 段ボールの特徴から表したいものを考えることができる。 (主) 段ボールをいろいろな形に変えて、つくることを楽しむ。
二学期	9	「くるくる回して」	6	・クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる	(知) 形や色、動く仕組みづくりなどを工夫することができる。 (思) 揺れ棒の動きからおもちゃを考えることができる。 (主) 繰り返しの動きの面白さを楽しむ。
	10	「重ねて広がる形と色」	6	・彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す	(知) 彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫することができる。 (思) 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えることができる。 (主) 彫りと刷りを繰り返して表すことを楽しむ。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
	11	「地球まるごとたからばこ」	4	・身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する	(知)自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。 (思)材料や場所の特徴を生かして何ができるか考えることができる。 (主)自然の材料に親しみ、友達と協力して楽しく活動する。
	12	「冬の飾り作り」	6	・冬の季節の飾りを作る	(知)いろいろな道具や材料を工夫して作ることができる。 (思)適切な素材を考えて選択することができる。 (主)自然の材料に親しみ、友達と協力して楽しく活動する。
三 学 期	1	「動いてクレイアニメーション」	4	・紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくったのしむ	(知)キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫することができる。 (思)キャラクターに合わせた動きとお話を考えることができる。 (主)友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。
	2	「わたしの町のひみつ教えます」	6	・町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う	(知)作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気付くことができる。 (思)町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深めることができる。 (主)互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。
	3				
そ の 他					
<b>指導の工夫 学習時の配慮事項等</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩飾道具は児童の実態に応じて、持ち手などを工夫する。</li> <li>・書き終わらない児童は、動画・写真を見ながら描く時間を設ける。</li> <li>・コースのイメージを提示するなどして活動しやすくする。</li> <li>・イメージを広げるため動画なども活用する。</li> <li>・安全な使い方を指導する。</li> <li>・質感の異なる素材を用意し、表現の違いを意識できるようにする。</li> <li>・組み合わせしやすいよう複数の色を準備する。</li> <li>・枝や葉がある場所を数種類調べておき、選択できるようにする。</li> <li>・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。</li> <li>・イメージを広げるため動画や画像なども活用する。</li> <li>・パワーポイント等を活用して作品を分かりやすく提示する。</li> <li>・鑑賞カードを用意して、感じたことを分かりやすくまとめられるようにする。</li> </ul>	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	体育	グループ名	Cグループ	年間授業時数	22 単位時間
年間指導目標	(知)各種の運動の行い方について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。 (思)自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学)各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子				
使用教科書	新しい保健5年 6年(東京書籍)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)		
					(知) 知識・技能	(思) 思考力・判断力・表現力 体的に学習に取り組む態度	(主) 主
一 学 期	4	「道具を使つての運動(授業参観発表)」	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート型ゲーム</li> <li>・ベースボール型ゲーム</li> </ul>	(知) ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。 (知) ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。 (思) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。		
	5						
	6	「水泳(実施できない場合 体つきり運動)」	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊び(水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど)</li> <li>・浮く(背浮き、伏し浮き、けのびなど)</li> <li>・泳ぐ(補助具を使ってキックやストローク等)</li> </ul>			
	7						
二 学 期	9						
	10	「表現」	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンス(しかもと音頭、ソーラン節等)</li> </ul>	(知) 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 (思) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
三 学 期	11				踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主)運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること
	12	「サーキット走 陸上」	2	・サーキット走 ・30m走 ・リレー	(知)サーキット走・30m走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 (思)自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主)運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。
	1	「保健」	8	・心の健康          ・けがの防止          ・病気の予防	(知)心は、さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること、また、心と体は深く影響し合っていること、不安や悩みは誰もが経験すること、それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し、不安や悩みを緩和するための簡単な対処を行っている。 (思)心の健康に関わることから課題を見つけ、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする視点から、解決の方法を考え、適切なものを選び、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、心の健康の大切さに気づき、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処する方法を考えたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。 (知)交通事故、身の回りの生活の危険や地震などが原因で起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断のもとに安全に行動すること、環境を安全に整えること、けがなどの簡単な手当はすみやかに行う必要があることを理解し、けがなどの簡単な手当を行っている。 (思)けがの防止に関わる事象から課題を見つけ、危険の予測や回避をしたり、けがを手当したりする方法を考え、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、安全の大切さに気づき、けがの防止や手当についての学習活動に進んで取り組もうとしている。 (知)病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること、更に、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解している。 (思)病気の予防や回復に関わることから課題を見つけ、病気を予防する視点から解決の方法を考え、適切な方法を選び、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、健康の大切さに気づき、病気の発生要因や予防についての学習活動に進んで取り組もうとしている。
	2				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の課題に応じた道具を使用したり介助したりする。</li> <li>・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。</li> <li>・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。</li> <li>・ダンスの振付を、写真やイラスト、動画等を用意し、視覚的に分かりやすくする。</li> <li>・タイムを計測したり、友達と競ったりするなど、自分のスピードの変化を意識できるようにする。</li> <li>・イラストや映像を活用し、興味関心を高める。</li> </ul>		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	家庭	グループ名	Cグループ	年間授業時数	60 単位時間
年間指導目標	(知)家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思)日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価。改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学)家庭生活を大切にできる心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子 内山 陽子				
使用教科書	新しい家庭5・6(東京書籍)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）		
					(知) 知識・技能	(思) 思考力・判断力・表現力 に取組む態度	(主) 主体的に学習
一学期	4	「見つめてみよう生活時間」	2	・生活時間を見つめてみよう 生活時間を工夫しよう 生活時間を有効に使う	(知)生活時間の有効な使い方について理解している。 (思)生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		
	5	「朝食から健康な1日の生活を」	10	・朝食の役割を考えよう いためる調理で朝食のおかずを作ろう 朝食の健康な生活を始めよう	(知)食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。 (思)食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		
	6 7	「夏をすずしくさわやかに」	8	・夏の生活を見つめよう すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう 夏の生活を工夫しよう	(知)住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。 (思)季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		
二学期	9 10	「思いを形にして生活を豊かに」	14	・目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう 計画を立てて工夫して作ろう 衣生活を楽しく豊かにしよう	(知)製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思)生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいやミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11	「まかせてね今日の食事」	13	・献立の立て方を考えよう 1食分の献立を立てて、調理しよう 工夫してよりよい食事にしよう	(知)1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (思)1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	12				
三 学 期	1	「冬を明るく暖かく」	5	・冬の生活を見つめよう 暖かい着方や住まい方をしよう 冬の生活を工夫しよう	(知)住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。 (思)季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	2	「あなたは家庭や地域の宝物」	5	・家族や地域の一員として 私から地域につなげよう！ 広げよう！ もっとかがやくこれからの私たち	(知)家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。 (思)家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科学習ノートを活用して、スムーズに学習に取り組めるようにする。</li> <li>・図やイラストを使った資料を活用して、分かりやすく調理できるようにする。</li> <li>・映像資料等を活用して、分かりやすく調理できるようにする。</li> <li>・望ましくない環境のイラストと比較させて、快適に生活するために何をすべきか考えられるようにする。</li> <li>・家庭で計画できるように、ワークシート等を活用する。</li> <li>・製作キット等を活用して、スムーズに作品を作れるようにする。</li> </ul>	

令和 8 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6 学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語	グループ名	Cグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導 目標	(知)外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる 基礎的な技能を身に付けるようにする。				
	(思)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で 簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に 慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを 伝え合うことができる基礎的な力を養う。				
	(学)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美				
使用教科書	CROWN Jr.6 (三省堂)				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「We are from India.」	9	・友だちとの共通点を探して伝え合う	(知) ・自分たちに共通のことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・自分たちに共通のことについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。	(主) ・自分たちのことを知ってもらうために、自分たちに共通のことについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 ・自分たちのことを知ってもらうために、自分たちに共通のことについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。
	5				(思) ・自分たちのことを知ってもらうために、自分たちに共通のことについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 ・自分たちのことを知ってもらうために、自分たちに共通のことについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。	
	6	「We have Children's Day in May.」	8	・日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う。	(知) ・日本の行事や地域の施設・自然について伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・日本の行事や地域の施設・自然について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 ・日本の行事や地域の施設・自然について伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・日本の行事や地域の施設・自然について、語句や表現を見本を見ながら書くことができる技能を身につけている。	(思) ・日本や住んでいる地域に魅力を感じてもらうために、日本の行事や地域の施設・自然について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・日本や住んでいる地域に魅力を感じてもらうために、日本の行事や地域の施設・自然について、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかどうかや自分の課題を自覚しており、次に取り組みたいことをもっている。
	7	「Time Travel Gulliver's Travels」	6	・施設/ケン冒険/世界のおはなし	(知) ・音声をたよりに、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 (思) ・音声をたよりに、内容を推測しながら、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえている。	(主) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえようとしている。
二 学 期	9	「I went to the beach.」	8	・夏休みにしたことを伝え合う	(知) ・夏休みにしたことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・夏休みにしたことについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・自分のことを知ってもらうために、夏休みにしたことについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・自分のことを知ってもらうために、夏休みにしたことについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかどうかを自覚し、目的の達成につながった学びの過程を認識している。	
	10	「It was green.」	6	・現在と過去の状態を比べて、変化を詳しく伝え合う	(知) ・身の回りのものの変化を伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・身の回りのものの変化について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 ・身の回りのものの変化について伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・身の回りのものの変化について、語句や表現を見本を見ながら書くことができる技能を身につけている。 (思) ・小学校生活の思い出を伝えるために、身の回りのものの変化について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・小学校生活の思い出を伝えるために、身の回りのものの変化について、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかどうかを自覚し、目的の達成につながった学びの過程を認識している。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	11	「We had the sports day in October.」	9	・小学校の思い出を伝え合う	(知) ・過去の出来事と感想を伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・過去の出来事と感想について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 ・過去の出来事と感想を伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・過去の出来事と感想を伝える語句や表現を見本を見ながら書くことができる技能を身につけている。 (思) ・思い出アルバムを作るために、6年生の思い出について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・思い出アルバムを作るために、6年生の思い出について、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかどうかを自覚し、目的の達成につながった学びの過程を認識している。
	12	「Space Travel The Lion and the Mouse」	5	・食べ物/ケンの冒険/世界のおはなし	(知) ・音声をたよりに、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 (思) ・音声をたよりに、内容を推測しながら、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえている。 (主) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえようとしている。
三 学 期	1	「I want to be a singer.」	8	・将来どんな職業につきたいかを、理由とともに伝え合う	(知) ・将来の夢を伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・将来の夢について、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・友だちと応援し合うために、将来の夢について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・友だちと応援し合うために、将来の夢について、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・自分の力が伸びたかどうかを自覚し、なぜ伸びたかを認識している。
	2	「I want to join the brass band.」	6	・中学生になったらしたいことを伝え合う	(知) ・中学生になったらしたいことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・中学生になったらしたいことについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・中学校での新しい生活への期待を高めるために、どんな中学校生活を送りたいかについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・中学校での新しい生活への期待を高めるために、どんな中学校生活を送りたいかについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・自分の力が伸びたかどうかを自覚し、なぜ伸びたかを認識している。
	3	「This is my dream! See You Again. The Story of a White Horse This is me!」	5	・「これからのわたし」スピーチをする/友だちの夢を応援する/ケンの冒険/世界のおはなし	(知) ・音声をたよりに、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 (思) ・音声をたよりに、内容を推測しながら、書かれた英語の意味がわかり、設問に答えている。 ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえている。 (主) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、物語の内容をとらえようとしている。
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と外国語に違いに気づきやすいよう、目的や場面を明確にして比較するなどする。</li> <li>・動画やイラストなど多角的に活用し場面をイメージしやすくする。</li> <li>・リスニングの学習の場合は、聞き取りやすいよう周囲の環境に配慮する。</li> </ul>	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳科	グループ名	Cグループ	年間授業時数	39 単位時間
年間指導目標	(知)善悪の判断や誠実な心を養う。また、節度ある生活で、個性を伸ばす。				
	(思)周囲の人との関わりの中で、親切心や感謝の気持ちをもつ。				
年間指導目標	(学)社会や集団の関わりの中で、道徳的な判断力を育てる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美				
使用教科書	小学 どうとく ゆたかな心 6年(光文)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「友情、信頼」	3	・友情を深め、信頼関係を築く	(知)互いのよいところを認め、相手の考えを取り入れることで、よりよい友達関係が築けることが分かる。 (思)友達どうしが互いに認め合い、支え合うことで友情を深めた姿によさを感じる。 (主)自分も周りにいる友達とよりよい関係を築いていこうとする。	
	5	「自然愛護」	4	・自然を大切にすると何か考える	(知)動物と植物が共存していることや、自然環境を守ってきたことを理解する。 (思)動植物が、広大な自然環境を守っているという自然の仕組みのすばらしさを感じる。 (主)美しい風景や大自然を生み出している自然の仕組みに畏敬の念をもち、自然環境を大切にしようとする。	
	6	「生命の尊さ」	7	・いのちのつながり	(知)命を支える人たちの思いから、命はかけがえのないものだということが分かる。 (思)全ての人がもつ「生きようとする力」のすばらしさを感じる。 (主)笑顔で支え合い、高め合って、自分の命を輝かせようとする。	
	7	「国や郷土を愛する態度」	3	・郷土を愛すると何か考える	(知)わが国や郷土の伝統や文化は、先人の思いや努力によって守られていることが分かる。 (思)郷土の誇りとなっているものに対する先人たちの努力や思いに共感する。 (主)郷土の誇りとなるものを見つけ、自分との関わりを考え、国や郷土を大切にしようとする。	
二 学 期	9	「個性の伸長」	3	・自分らしさとは何か考える	(知)自分の特徴を知ることが、短所を改め長所を伸ばすことにつながる事が分かる。 (思)自分の特徴を知り、長所を伸ばすことで成長した生き方のよさを感じる。 (主)自分の長所を伸ばし、長所を改め、自分の成長につなげようとする。	
	10	「規則の尊重」	4	・決まりは何のため	(知)きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めている。 (思)きまりを守ることの意義について、登場人物の考えに共感する。 (主)きまりを守るための自分の課題を考え、きまりを守っていこうとする。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11	「家族愛、家庭生活の充実」	3	・家族の良さを考える	(知)自分が家族のことでよく知らないこともあることが分かる。 (思)家族のことをよく知っている人のことを、すばらしいと考える。 (主)家族について調べ、家族の思いや願いについて考えることで、家族のために何かしようとする。
	12	「礼儀」	3	・日本の心とかたち	(知)礼儀には、時と場、相手に応じた仕方があり、心とかたちが一つになると美しいことが分かる。 (思)真心をもって、礼儀正しく人に接する姿に共感する。 (主)日常生活で、心とかたちを一つにして、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする。
三 学 期	1	「感謝」	3	・ありがとうの心	(知)人は周囲の人に支えられて生活していることが分かる。 (思)支えてくれている周囲の人の思いに心が動く。 (主)人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践しようとする。
	2	「公正、公平、社会正義」	3	・正義を貫いた偉人を知る	(知)差別や偏見をなくすことが、正義の実現のために大切だということが分かる。 (思)公正、公平なよりよい社会の実現に向けて、行動した人の思いに共感する。 (主)自分には何ができるのかを問いかけながら、だれにでも公正、公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとする。
	3	「国際理解、国際親善」	2	・世界を知ろう	(知)日本と同様に、外国にもさまざまなよさがあることが分かる。 (思)外国の人々に、日本のよさを知ってもらいたいと感じる。 (主)日本人として、世界の人々と仲良く生活していきたいと考える。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本等を活用し、イメージしやすいようにする。</li> <li>・ワークシートを使って、自分のことを振り返られるようにする。</li> <li>・飼育の経験を通して感じたことと結び付けた発問をする。</li> <li>・日本の昔遊びや海外の人と触れ合う経験を設ける。</li> <li>・ロールプレイングを設定し、物語の役になりきる場面を作り、具体的に考えられるようにする。</li> <li>・自分のことや家族のことを振り返るワークシートを使用し、整理できるようにする。</li> <li>・具体的な場面を設定して演じてみる。</li> <li>・心情理解の学習を国語の学習と結び付ける。</li> <li>・状況がイメージしにくい内容や、映像資料が有効と思われる場合には、適宜視聴覚機材を活用する。</li> </ul>	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間	グループ名	Cグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導目標	<p>(知)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解することができる。</p> <p>(思)実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする事ができる。</p> <p>※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等</p>				
担当教職員	生井 恭子 多島 康美				
使用教科書					

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「話し合って気持ちよい環境をつくろう」	20	・どのような環境がよいか考え、話し合う	<p>(知) 友達同士互いに関わりながら話し合うことができる。</p> <p>(思) 問題状況の中から課題を発見し、設定することができる。</p> <p>(主) 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。</p> <p>(知) 友達同士互いに関わりながらルールを決めてゲームを楽しむことができる。</p> <p>(思) ゲームを進める上で生じる問題の解決の方法や手順を考えすることができる。</p> <p>(主) 友達と協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする。</p>
	5	「作戦を考えてゲームを楽しもう」		・ルールのあるゲームを楽しむ	
	6				
	7				
二学期	9	「社会見学に向けての事前学習と事後学習」	30	・社会見学についての調べ学習を事前に行い、社会見学後にはスライド等に調べて分かったことをまとめて発表する	<p>(知) 社会見学に向けて、必要な情報を集めて調べることができる。</p> <p>(思) 相手や目的に応じ分かりやすくまとめ・表現をすることができる。</p> <p>(主) 自らすすんで情報を集め、相手に向けて発信しようとする。</p> <p>(知) 防災や地球環境に関して、必要な情報を集めて調べることができる。</p>
	10	「防災や地球環境について知ろう」		・防災や地球環境についての調べ学習を行う	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11				(思) 知りたいと思った情報を、図書館資料やインターネット、インタビュー等で調べ、伝えたいことをまとめることができる。 (主) 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。
	12				
三 学 期	1	「自分の進路を考えよう」	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の進路のイメージづくり</li> <li>中学部授業見学</li> </ul>	(知) 進学や就職のためにどのような準備が必要か情報を集めて調べることができる。 (思) 情報収集の手段を選択することができる。 (主) 探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもちようとする。 (知) 学習した成果を相手に分かりやすく伝えることができる。 (思) 相手や目的に応じ分かりやすくまとめ・表現をすることができる。 (主) 探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。
	2	「学習発表会をしよう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習発表会をしよう</li> </ul>	
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容を児童が話し合いを通して決めるようにする。</li> <li>図や写真等、視覚教材を用いて理解を深める。</li> <li>他学部の教員とも連携し、授業計画を綿密に立てる。</li> <li>今後、自分がどのような力をつけたら良いかを考えるきっかけを作る。</li> <li>中学生になったことを想像しながら見学するようにする。</li> </ul>		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動	グループ名	C	年間授業時数	55 単位時間
年間指導目標	(知)集団の活動の中で、友達を意識する。 (思)集団で活動することの楽しさを味わう。 (学)教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:上原 千穂、大熊 しのぶ、菊地 保菜美、丹後 浩晃 多島 康美 学校介護職員:小河原 博子、日隈 智恵、徳田めぐみ				
使用教科書					

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	始業式 学年活動	4	○新入生歓迎会準備、始業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりに意識を向ける。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
	5	新入生歓迎会 学年活動 クラブ活動	5	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。 (主) 他の学年の児童にも気持ちを向け、集団活動を楽しむ。
	6	学年活動 クラブ活動	5	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 他のグループの友だちに意識を向ける。 (思) 教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	7	学年活動 クラブ活動 終業式	4	○終業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
二学期	9	始業式 学年活動 クラブ活動 移動教室事前学習	4	○始業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりに意識を向ける。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
	10前半	学年活動 クラブ活動 移動教室事後学習	4	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 他のグループの友だちに意識を向ける。 (思) 教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	学年活動 クラブ活動 移動教室事後学習	2	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	11	学年活動 クラブ活動 虹輝祭	8	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見 たり聞いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮す る。
	12	学年活動 クラブ活動 終業式	5	○終業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞 いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。 (主)他の学年の児童にも気持ちを向け、集団活動を楽しむ。
三 学 期	1	学年活動 クラブ活動	4	○始業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりに意識を向ける。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	2	学年活動 クラブ活動	4	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見 たり聞いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮す る。
	3	学年活動 卒業式	6	○学年活動、卒業式 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
そ の 他		芸術鑑賞教室 修学旅行 移動動物園			
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがもてるように活動を象徴する歌を歌ったり、事前学習を行ったりする。</li> <li>・他学年の友達や教員と関わる場面を設定する。</li> </ul>	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	Cグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (学)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	福永 映子 藤原 千嘉 多島 康美 生井 恭子				
使用教科書					

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） （知）知識・技能 （思）思考力・判断力・表現力 （主）主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	25	・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使用方のイメージ作り、持久力の向上など ・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	5				
	6				
	7				
二学期	9	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	25	・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使用方のイメージ作り、持久力の向上など ・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	10前半				

期	月				
二学期	10 後半				
	11				
	12				
三学期	1	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など</li> <li>・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方</li> </ul>	(知) 日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思) 自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主) 介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	2				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。</li> <li>・必要に応じて個別のメニュー表を作り見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>・意欲的に取り組めるように、ゲームの要素などを取り入れる。</li> </ul>	